

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期 月曜4限	教室名	4校舎401教室
担 当 教 員	前中尾絵梨香	実務経験と その関連資格	理学療法士として、病院・介護施設・訪問看護ステーションなどで15年以上			
《授業科目における学習内容》						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーションとは何か。病期による関わり方の違いを考える</li> <li>・リハビリテーションの対象となる障害の基礎知識について知る</li> <li>・リハビリテーションの対象となる疾患の概要について理解する</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
リハビリテーションビジュアルブック						
《授業外における学習方法》						
配付資料の空欄部分を中心に復習すること						
《履修に当たっての留意点》						
第5回、第6回の講義までに疾患についての該当ページについて読み、課題を完成させること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの急性期～維持期までの流れや違いを理解し説明できる	PC		
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの様々な側面を知り、病期による関わり方やチームでのアプローチについて学習する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能障害とその検査方法について理解し説明できる	PC ゴニオメーター 打腱器 など	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	各種障害の特徴やその検査方法について学習する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	機能障害とその検査方法について理解し説明できる	PC	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	各種障害の特徴やその検査方法について学習する。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション対象疾患の概要について理解し説明できる	PC	グループ学習で課題とした疾患についてまとめる	
		各コマにおける授業予定	事前に課題として各疾患の発表グループを決定。学生の課題発表の場とする			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種疾患のリハビリの現状について理解し説明できる	PC	教科書の該当箇所を読んでおくこと	
		各コマにおける授業予定	動画なども見ながら疾患ごとの動作の違い、リハビリの内容などについて学習する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	合併疾患の概要について理解し説明できる	PC	教科書の該当箇所を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	内科的疾患・整形疾患などSTとしての対象とはなりにくい疾患の概要について学ぶ。また、学ぶ意味を考える。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の介助・福祉用具について理解し説明できる①	PC 車椅子 杖 歩行器 など	教科書の該当箇所を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	基本動作の介助方法について、また、杖や車椅子などの種類や使用方法について学習する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	基本の介助・福祉用具について理解し説明できる②	PC 車椅子 杖 歩行器 など	教科書の該当箇所を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	基本動作の介助方法について、また、杖や車椅子などの種類や使用方法について学習する。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			